国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

全国土木施工管理技士連合会
ＣＰＤＳ　認　定　講　習

令　和　８　年　１　０　月　２　３　日
中　部　地　方　整　備　局
名古屋港湾空港技術調査事務所

第 29 回　民間技術交流会を開催します

ー港湾・海岸分野に活用が期待される新技術・取組を紹介ー

令和 8 年 12 月 10 日に『第 29 回　民間技術交流会』を開催します。
港湾・海岸分野における新技術の積極的な活用を目的として、新技術・取組を紹介します。
交流会では、活発な意見交換が行われ、更なる技術の向上につながる情報共有の場となることを期待しています。

１．日時・会場　：令和 8 年 12 月 10 日（木）　14 時 00 分～17 時 00 分（13:00 開場）
：ウインクあいち　会議室 902（〒450-0002 名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38）

２．開催内容　：詳細は発表技術一覧、別添リーフレットを参照

〇紹介技術・取組

① エポコラム Taf 工法(地中障害物混在地盤対応地盤改良工法)
【エポコラム協会(新技術工営株式会社)】
② 防波堤・護岸築造プレキャスト型枠工法　【共和コンクリート工業株式会社】
③ ジャイロプレス工法(インプラント NAVI™)　【株式会社技研製作所】
④ KAISO BANK(港湾におけるブルーカーボンの創出の取組)　【三洋テクノマリン株式会社】
⑤ セラダクト(地中埋設ケーブル保護用 多孔陶管)　【杉江製陶株式会社】

３．参加申込み　：11 月 27 日(金)〆切

① 参加申込は、専用申込フォーム(https://x.gd/UsXLH)からご応募ください
② 取材希望者は別紙ー1「取材登録」による

４．その他

・本交流会は、CPDS（継続学習制度）認定講習会です（3 ユニット付与）。
※全国土木施工管理技士会連合会以外の団体に提出する場合の方法等は提出先団体に事前にご確認ください。他団体が運営する CPD 制度に関する内容については回答いたし兼ねます。
・災害その他の理由により、開催できない場合は当事務所 HP でお知らせします
事務所 HP: https://www.meigi.pa.cbr.mlit.go.jp/event/3020/index.html

５．配布先　中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、港湾空港タイムス、港湾新聞、日本海事新聞、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

６．問合せ先

中部地方整備局　名古屋港湾空港技術調査事務所
〒457-0833 名古屋市南区東又兵エ町 1-57-3
古田（ふるた）　岩田（いわた）
電話　052-612-9984

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

第 29 回　民間技術交流会　発表技術一覧（発表順）

No.	発表技術	発表者	技術の概要
1	エポコラム Taf 工法 （地中障害物混在地盤対応地盤改良工法）	エポコラム協会 （新技術工営株式会社）	エポコラム Taf 工法は、「低速回転・高トルク」による攪拌作動と、攪拌翼・攪拌ヘッドの技術改良の相乗効果により、地中障害物の破砕と地盤改良とを同時に行うことが可能な深層混合処理工法（地盤改良工法）です。 従来工法では必要となる除去工などの補助工法が不要であり、工期短縮およびコストダウンに寄与します。
2	防波堤・護岸築造プレキャスト型枠工法	共和コンクリート工業株式会社	従来、鋼製型枠を用いて施工されてきた防波堤（上部工）や岸壁（護岸）等の現場打ち構造物に関して、構造物の一部をプレキャスト型枠とした工法である。 従来の鋼製型枠をプレキャスト型枠に置き換えて施工することで、施工効率と作業者安全度の向上が期待できる。
3	ジャイロプレス工法 （インプラント NAVI™）	株式会社技研製作所	「インプラント NAVI™」 ジャイロプレス工法で施工した鋼管杭の杭精度管理システムです。施工中の杭の貫入深度・変位・傾斜をリアルタイムで計測し、高精度な品質管理を実現します。また、出来形資料の自動作成や CIM 対応の 3 次元モデル作成にも対応しています。
4	KAISO BANK （港湾におけるブルーカーボンの創出の取組）	三洋テクノマリン株式会社	漁港内を活用して海藻種苗を大量生産・中間育成し、着脱可能な海藻カートリッジおよび海藻育成基盤を用いて周辺海域へ効率的に移植することで、藻場の造成・回復を図る海藻供給システム。従来の天然母藻採取や小規模移植と比較し、安定した種苗供給による広域的な藻場再生を可能とする。ブルーカーボン創出および生物多様性保全への貢献も期待される。
5	セラダクト （地中埋設ケーブル保護用　多孔陶管）	杉江製陶株式会社	港湾・空港等の重要インフラ施設において、電力・通信等の地中埋設ケーブルを長期間保護するためのセラミック製多孔陶管。 特に港湾・臨海部のケーブル保護に検討できる。貨物の荷重や塩害等への対応が求められる箇所には、「セラダクト」を使用できる。セラミック製のため、塩水などによる管路の腐食や土圧による変形を抑え、長期間ケーブルを保護することが可能なため、将来のメンテナンスコストを大幅に抑制可能である。

※「技術の概要」は発表者の申請のとおり記載している

第29回民間技術交流会

ー　港湾・海岸分野に活用が期待される新技術・取組を紹介　ー

名古屋港湾空港技術調査事務所では、有用な技術を積極的に活用していくため、その技術と取組を発表していただく「民間技術交流会」を開催します。本交流会の開催にあたり聴講者を募集します。

1.日時　：　令和8年12月10日（木）14:00～17:00　（13:00～受付）

2.会場　：　ウインクあいち　会議室902＜〒450-0002名古屋市中村区名駅4丁目4-38 ＞

3.発表技術、スケジュール

14:00～14:10　開会

主催者挨拶／名古屋港湾空港技術調査事務所長

14:10～17:00　技術発表（5題） **発表18分＋質疑10分　※途中休憩有**

① エポコラムTaf工法（地中障害物混在地盤対応地盤改良工法）【エポコラム協会（新技術工営株式会社）】
② 防波堤・護岸築造プレキャスト型枠工法【共和コンクリート工業株式会社】
③ ジャイロプレス工法　（インプラント NAVI™ ）【株式会社技研製作所】
④ KAISO　BANK（港湾におけるブルーカーボンの創出の取組）【三洋テクノマリン株式会社】
⑤ セラダクト（地中埋設ケーブル保護用　多孔陶管）【杉江製陶株式会社】

16:50～17:00　閉会

4.応募要項

募集対象　：　建設関係者
募集人数　：　80名
参加費用　：　無料
応募期間　：　令和8年10月26日（月）10時～11月27日（金）17時
応募方法　：　下記HPの申込フォームからご応募ください。
申込フォームアドレス　：　**https://x.gd/UsXLH**
注意事項　：　お申し込みは**先着80名様**までとなり、募集人数を超えると申込フォームはクローズします。
フォームでの応募が可能な場合は、ご参加頂けますので、改めての通知はいたしません。
応募に関するお問い合わせ先　：　特定非営利活動法人伊勢湾フォーラム
E−mail　：　**contact@isewanforum.org**

お申し込みフォームアドレスQRコード

5.その他

●本交流会は、CPDS（継続学習制度）認定講習会です（ 3ユニット付与）。
※全国土木施工管理技士会連合会以外の団体に提出する場合の方法等は提出先団体へ事前にご確認ください。他団体が運営するCPD制度に関する内容については回答いたし兼ねます。
●災害その他の理由で開催できない場合は、当事務所HPでお知らせします。

□会場までのアクセス□

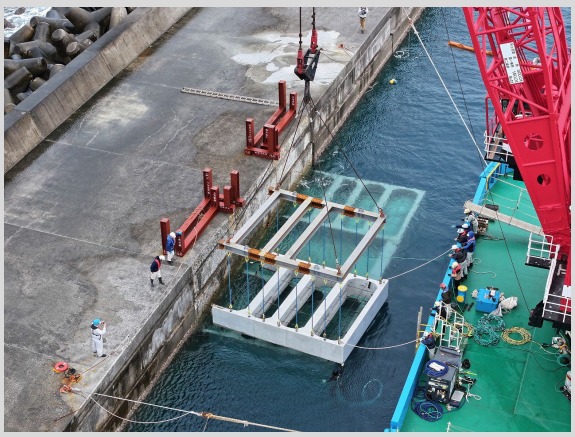
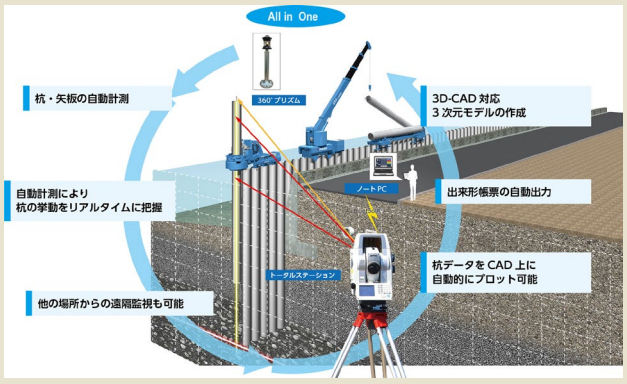
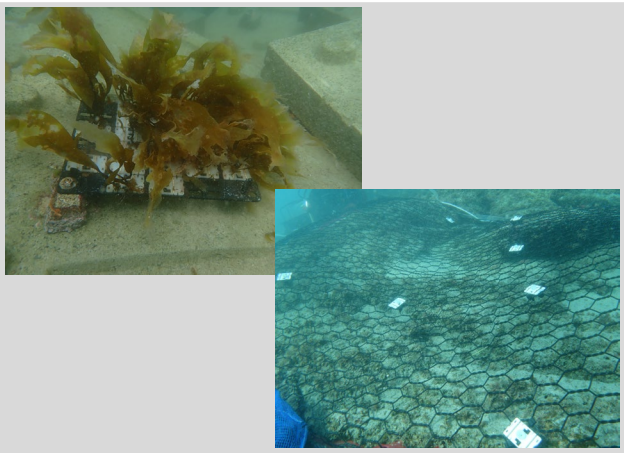
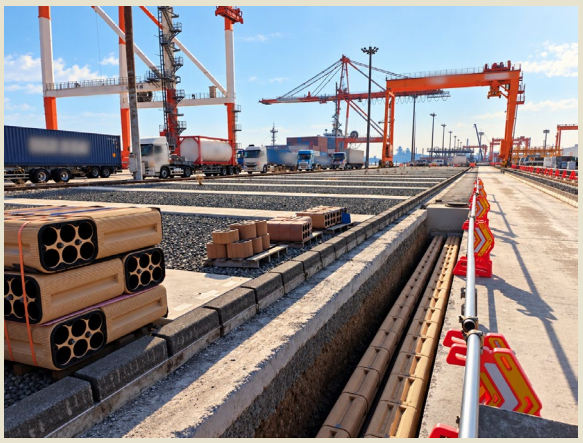
JR名古屋駅桜通口からミッドランドスクエア方面　徒歩5分

【会場周辺地図】
地図出典:ウインクあいちHP

国土交通省
中部地方整備局　名古屋港湾空港技術調査事務所　＜担当　：古田、岩田　＞
〒457-0833名古屋市南区東又兵ヱ町一丁目57-3 ☎052-612-9984
https://www.meigi.pa.cbr.mlit.go.jp/

HP QRコード

第29回 民間技術交流会 発表技術一覧(発表順)

発表技術及び発表者	技術の概要サイト	技術イメージ
① エポコラムTaf工法 （地中障害物混在地盤対応地盤改良工法） 【エポコラム協会（新技術工営株式会社）】	https://x.gd/rkmD8	
② 防波堤・護岸築造プレキャスト型枠工法 【共和コンクリート工業株式会社】	https://www.kyowa-concrete.co.jp/	
③ ジャイロプレス工法 （インプラントNAVI™ ） 【株式会社技研製作所】	https://x.gd/Xmyt5	
④ KAISO BANK （港湾におけるブルーカーボンの創出の取組） 【三洋テクノマリン株式会社】	https://kaisobank.jp/	
⑤ セラダクト （地中埋設ケーブル保護用　多孔陶管） 【杉江製陶株式会社】	https://sugie.co.jp/strength/	

別紙－1

取材登録

〇取材をご希望の場合は、以下の記載事項を電子メールにて送付いただくようお願いいたします。
（メール本文に直接入力し、送付いただく形で問題ありません。）
〇当日は、１３時００分から会場受付を行います。
〇カメラ等による撮影は可能です。なお、取材の際は、報道機関名が確認できる取材者証（腕章）等の着用をお願いいたします。

【記載事項】

1. 報道機関名

２．取材者（複数名の場合は代表者）
①御氏名
②御役職
③取材人数

３．連絡先
①電話番号
②当日に連絡可能な携帯電話番号（３．①と同じ場合は不要）

メール送信先：pa.cbr-info-gicho@mlit.go.jp
中部地方整備局　名古屋港湾空港技術調査事務所　事務局　宛
※件名を「取材申込」としてください。

申込締切り：令和 8 年 11 月 27 日（金）17：00